

DMAT の活動



DMAT

Japan Disaster Medical Assistance Team

DMATとは、

**災害急性期に活動できる機動性を持った
トレーニングを受けた医療チーム**

一人でも多くの命を助けよう

意識清明であった被災者が救出とともに急変し、心停止に至ったクラッシュ症候群、手足を挟んだ重量物を除去できず、現場での切断もできず迫り来る火の手に巻き込まれた例、適切な初期医療が受けられぬまま命を落とした例も少なくなかった。従来、医療救護班は避難所の仮設診療所や巡回診療を担当してきたが、救命の観点からみた災害医療として充分とは言い難い。急性期に可及的早期に救出・救助部門と合同し、トレーニングを受けた医療救護班が災害現場に出向くことが、予防できる被災者の死の回避につながる。

平成13年度厚生科学特別研究

「日本における災害時派遣医療チーム（DMAT）の標準化に関する研究」報告書



阪神淡路大震災 人と防災未来センター提供

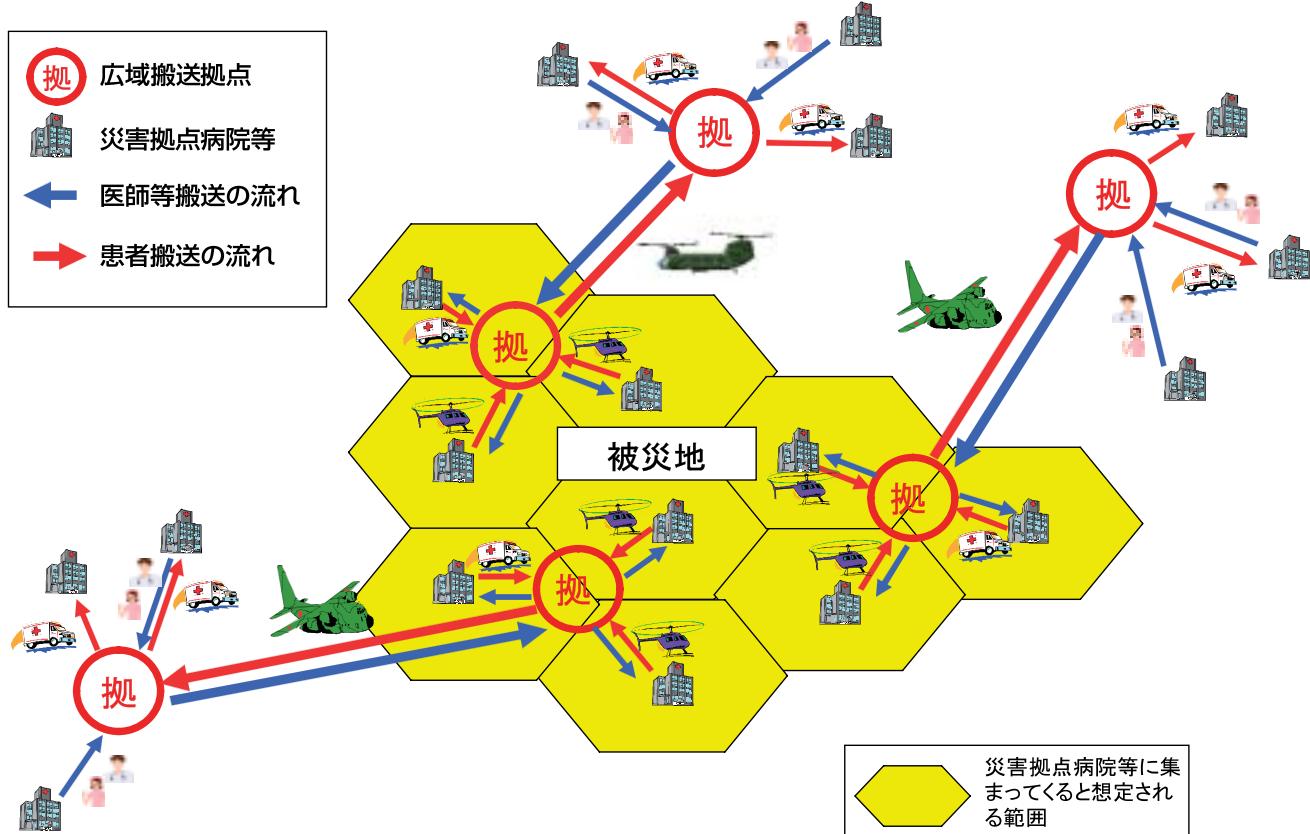


DMATの 機能・任務

- 被災地域内での医療情報収集と伝達
- 被災地域内でのトリアージ、応急治療、搬送
- 被災地域内の医療機関、特に災害拠点病院の支援・強化
- 広域搬送拠点医療施設 (Staging Care Unit) における医療支援
- 広域航空搬送におけるヘリコプターや固定翼機への搭乗医療チーム
- 災害現場でのメディカルコントロール



～固定翼輸送機や大型回転翼機を使用した広域医療搬送活動～



広域医療搬送実働訓練

広域医療搬送とは

- ・被災地内の空港等に患者搬送拠点としての臨時医療施設（SCU：ステージングケアユニット）を立ち上げ、被災地外からの医療救護班（DMAT）の派遣により、傷病者の広域搬送中の安全を可能にするための安定化及び搬送のためのトリアージが行われます。
- ・自衛隊等の大型航空機により傷病者を被災地内から被災地外の拠点へ搬送し、待機している救急隊などにより救命救急センター等に運ばれ、迅速な高度医療により傷病者の治療が行われます。
- ・DMATは、ステージングケアユニットでの活動及び航空機内での医療を行うための専門的なトレーニングを受けています。

○広域緊急医療

- 医療救護班・DMAT投入
- 患者輸送
- 災害拠点病院（全国582病院）



広域医療搬送の目的

- ・大規模災害時には、多数の傷病者の発生、被災地内の病院の機能の低下、人的・物資の資源の低下などにより、緊急な治療を要する傷病者に対し、被災地外での高度な医療の提供及び被災地内の医療負担の軽減を図ることを目的としています。

病院支援

被災地内で多くの傷病者が来院している病院に対し、混乱の制止、機能維持を図り、後方搬送の体制確保を行うとともに、トリアージ、診療などの医療の支援を行います。



岩手・宮城内陸地震

域内搬送

ヘリコプターや救急車などによる傷病者の搬送で、現場から被災地内の医療機関、被災地内の医療機関から近隣地域への搬送、被災地内の医療機関から SCU への搬送及び被災地外の SCU から医療機関への搬送での医療支援を行います。



広域医療搬送実働訓練

現場活動

JR福知山線脱線事故、羽越本線脱線事故、新潟県中越地震では、土砂に埋もれた車からの子供の救出など、災害現場や、救助救出現場でのレスキューと共に活動する医療チームが求められています。

これらの現場活動では、トリアージ、緊急治療、がれきの下の医療などを行います。

通常の救助活動では対応困難な、倒壊した建造物・列車などに閉じこめられた負傷者に対し、高度な搜索・救助活動を行い、並行して医療を提供することで、最大限の救命効果=社会復帰の獲得を目指します。

Urban Search and Rescue、Confined Space Medicine など活動環境の特殊性から、十分な準備と訓練を受けた医療チームが必要とされます。



日本 DMAT 隊員養成研修



JR 福知山線脱線事故 兵庫県災害医療センター提供





DMAT

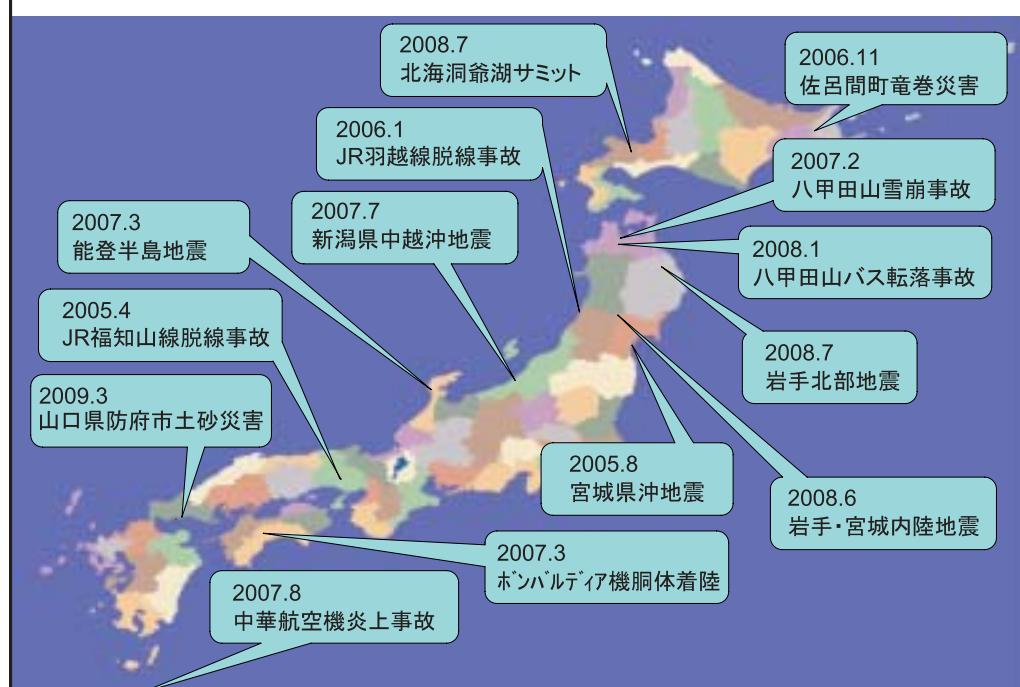
Japan Disaster Medical Assistance Team



「日本 DMAT 隊員養成研修」は国立病院機構災害医療センターと兵庫県災害医療センターで行われており、平成 22 年 3 月末現在で 387 施設、703 チーム、約 4300 名の隊員が登録されています。

DMAT は全国で発生する災害に対し活動を行っています。

DMAT の主な活動実績



このパンフレットの内容に関するお問い合わせは下記にお願いいたします。

独立行政法人 国立病院機構 災害医療センター

厚生労働省医政局 災害医療対策室 DMAT事務局

〒190-0014 東京都立川市緑町 3256

電話 042-526-5511 FAX 042-526-5535

われわれ DMAT 事務局では次の業務を行っています。

1. 日本 DMAT 検討委員会の運営
2. DMAT 隊員養成研修事業
3. DMAT 指定施設等への情報提供及び情報収集
4. 災害医療の啓蒙、普及活動
5. 災害対応、緊急医療に対する医療体制作り